

海外留学(短期プログラム)参加報告書

所属: 工学部 3 年

プログラム名: English as a Second Language(カナダ・レジャイナ大学)

留学期間: 2019, 8/10~8/31

1. 動機

私は海外に行ったことが一度もなく,留学には興味がなかったが親の強い勧めにより留学することに。レジャイナ大学を選んだのは,期間的に応募しているのがこのみだったため。留学を終えた今は,また海外に行きたいと思う。

2. 留学前準備

上記のように,海外にも行ったことがないため,パスポートをとることから始めた。以下に主に示す。

- パスポートを作成
- 飛行機便の手配
- いくつかの指定されたサイトの登録
- 必要書類の作成
- ホームステイ先へのお土産
- 荷物

私の所属する学科(コース)は試験期間が 8/6 までであったため,荷物以外の準備は 1 ヶ月前くらいから始めた。パスポートやサイトの登録には最短でも数週間かかるものもあったため注意した。

3. 留学先(カナダ,レジャイナ州)の環境

全てが日本と異なるが,印象に残った違いを紹介したい。日本と同じ北半球でレジャイナはカナダの南に位置しているため,真夏でも涼しいくらいかと思っただが,夜と朝の気温は一桁で,日中暖かくても 25 度くらいだったため寒かった。真夏に息が白くなり不思議な気持ちになった。

次に,基本バス移動であることだ。30 分おきくらいにしか来ない,そして休日は終電が早いため注意が必要だった。

4. 授業形態

事前にテストでクラスわけがなされた。日本人は文法や長文読解が強いので、英語が話せないのに上のクラスに行ってスピーキングやリスニングに困るくらいなら下のクラスの方がいいと思った。私が所属したクラスの生徒の構成は、4割メキシコ人、4割日本人、2割中国人だった。大学全体的にみると、留学生はメキシコ人がとても多かった。

授業内容は、生徒たちでテーマに沿ったディスカッションやネイティブの先生のカナダの文化紹介や課外活動、映画鑑賞、プレゼンなど様々だった。文法の授業も少しあったが、内容は中学2年の基礎レベル程度であった。外国の人と話すことが多いので、その国の文化を教えてもらったり、雑談をたくさんできる。

クラスで何回かテストをし、全体でのテストは初めのクラスわけと留学最後の計2回行った。

5. 授業時間外の過ごし方

放課後は家に帰って何もしないのはもったいないため、基本みんな出かける。私はホストファミリーとほとんど関係がなかったため、ダウンタウン(街)に出かけて買い物をしたり、食事をしに行ったり、毎週開催されるメキシコのダンスイベントに行ったりした。他の生徒はホストファミリーと出かけたりしているようだった。

6. 感想

とにかく楽しかった。休日もイベントが用意されてあるため暇をしない。私は英語が苦手だが、向こうの人がゆっくり話してくれれば意外と日常会話は問題なくできた。メキシコ人はスペイン語を話すので、日本人の英語とかなり違い、コミュニケーションが難しいが、それでもメキシコ人や中国人の友達がたくさんでき、非常に仲良くなったのが一番良かった点である。私の場合は、三週間なので英語はもちろん上達しなかったが、海外の雰囲気、文化を感じることができ、良い経験だった。初めて海外に行ったが、とても楽しくまた行きたいと思った。日本の夏は暑いので、カナダで涼しく快適に過ごせるのもいいポイントである。